

『青山スタンダード論集』創刊にあたって

青山スタンダード教育機構
機構長 仙波 憲 一

私立大学は独自の建学の精神に則った研究教育を行うことが使命です。とりわけ時代および社会の変化を見据え、理念を確認しつつ教育目標を明確にし、教育システム、およびそこから生み出される教育サービスと育て上げる人材像との整合性を絶えず検討する必要があります。いたずらに社会の変化に迎合することなく、教育理念を具現化するために、変えるべきものと堅持すべきものとを峻別することが必要であります。また人を教育育てるという基本を認識することが、大学の評価を高め、かつ社会的使命を果たすことになると思います。この過程において、社会から厳しく問われるのが、大学の研究レベルの高度化と教育の質の確保であると思います。

このような背景の下、本学の教育理念に則り教育目標を設定し、教育の質を確保するために相模原キャンパス開学と同時に導入された新教育システムが青山スタンダードです。「およそ青山学院大学の卒業生であれば、どの学部・学科を卒業したかに関わりなく、一定の水準の技能・能力と一定の範囲の知識・教養をそなえているという社会的評価を受けること」を教育目標とするものです。また青山スタンダード科目を通じて専門教育への導入と専門科目を理解するための「基礎知識」、ならびに「基礎的技法」や「学問的な作法」を習得させるという側面も併せ持っています。そのために専門課程の先生方に積極的に青山スタンダード科目の担当をお願いして、学びに対する学生のモチベーションを入学時から高めるようにしています。また、教育の根幹となるカリキュラム構成に建学の精神を具現化するような科目設定の工夫もなされています。これらが相まって本学の教育プロセスの刷新につながると考えております。

『青山スタンダード論集』創刊にあたって

この新教育システムを背景としてこの度創刊された『青山スタンダード論集』は、全学共通科目委員会のもとで発行されていた『論集』とは若干の相違点があります。もちろん、従来どおり本学の研究レベルの向上に資するため、先生方の研究成果の発表の場としての役割を担うことには変わりありません。先生方の研究の成果がやがて学生の教育レベルの向上に資することを期待しています。これに加え、教授方法、成績評価方法などの実践的教育成果の報告や方法論の分析、さらには科目開発等々に代表される教員の能力開発に関する論考など、青山スタンダードの教育目標を達成するためのテーマ、さらには教養教育全般に関するテーマ等を取り上げた論文なども積極的に発表していただく場にしたと思っています。

新教育システムが導入されて3年たち、その間新たな科目担当や講義形態およびその運営方法に戸惑いつつそれぞれの現場で先生方が創意工夫をされています。それらをまとめた報告や資料等を通じ共通問題を抱える教員の意見交換の場としての役割をも担うことができれば、青山スタンダード教育機構が発刊する意味があると思います。このような役割を本論集が併せ持つことをご理解いただければ幸いです。

今後本論集が、高い研究レベルに裏打ちされた研究論文の発表の場とともに、実践的教育論が議論される場として成長することを願うとともに、皆様のご協力をお願いするしだいです。

最後に青山スタンダードの運営にこれまで尽力された機構会議メンバー一人一人に心より御礼を申し上げます。また、論集発刊にたどり着くまで指導力を発揮して下さった前副機構長澤邊厚仁教授に対し御礼を申し上げます。さらに本論集の初代編集委員をお務めいただいた杉谷祐美子専任講師、高橋朋一助教授に対し感謝するとともに、編集事務を一手に引き受けていただいた機構室の田中弥生さんに御礼を申し上げます。

以上